

柿園管理情報 第6号

令和5年8月25日
城端果樹協会
砺波農林振興センター

1 概況

8月22日現在（満開90日後）の果実横径は57.6mmで、前年比96%、平年比96%となっています。なお、梅雨明け後、高温乾燥が続いており、日焼け果が散見されます。

2 防除について

- ・9月は炭そ病の重点防除期となります。下記を参考に防除を実施してください。
- ・現在、フジコナカイガラムシの発生は少ない状況ですが、9月以降、発生が目立つ場合、コルト顆粒水和剤（3,000倍 収穫前日まで 年間3回以内）を散布して下さい。
- ・山に近い園地などで、カメムシ類の被害果（写真）が目立つ場合、キラップフロアブル（2,000倍 収穫7日前まで 年間2回以内）を散布してください。



写真 カメムシ類による被害果

- ・薬剤は散布ムラの無いよう、ていねいに十分量を散布（※）してください。

※：農薬散布時は周囲の他作物や住宅等への飛散防止に努めてください。特に通学路に面した園地では、登下校時の時間帯等、十分注意してください。

：薬害の出やすい高温時を避け、朝や夕方の涼しい時間帯に散布してください。

散布時期	対象病害虫	散布薬剤	使用倍率	100リットル 当り薬量	10a当り 散布量
9月5日頃 (重点防除時期)	炭そ病	インダーフロアブル	5,000倍	20ml	400 ^{リットル}
9月20日頃	炭そ病	オーソサイド水和剤80	1,000倍	100g	400 ^{リットル}
10月20日頃	炭そ病	トップジンM水和剤	1,000倍	100g	400 ^{リットル}

- ・畦畔柿では、トップジンM水和剤（1,000倍 収穫前日まで 年間6回以内）を稲刈り後（9月中旬頃）および10月20日頃に散布してください。

3 台風等の強風対策について

今後、台風被害の発生しやすい時期となります。かき園での被害を軽減するため、台風の接近前および通過後に、以下の点に留意して対策を実施してください。

(1) 事前点検・通過後点検

- ア 支柱・結束縄の点検：若木等の支柱や結束縄の点検・補強
- イ 防風施設の点検：支柱やネット等の点検・補強
- ウ 排水路等の点検：明きよ、暗きよ等排水路の点検・手直し

(2) 被害が発生した場合の事後対策

- ア 傷口の保護：枝折れ等の傷口はきれいに切り直し、トップジンMペースト（使用回数：年間3回以内）等を塗布する。
- イ 防風施設の点検：倒伏した樹の支柱入れ、根回りのかん水を実施する。根の損傷はきれいに切り直し、トップジンMペースト等を塗布する。
- ウ 炭そ病等の感染防止：長時間の強風や大雨があった場合、すみやか（1～2日後）にフリントフロアブル25（3,000倍 収穫前日まで、年間3回以内）を散布する。

【注意事項】

- ・強風が吹いている間や、河川・用水が増水している間は、大変危険なので決して園地の状況等を見に行かないでください。
- ・落果果実のうち、炭そ病罹病果は、放置すると新たな感染源となるので、園地外に持ち出して適切に処分してください。

- 農作業に当たっては、こまめに水分を補給するなど、熱中症に留意してください。
- 脚立や農業機械等での作業時の安全対策を徹底し、農作業事故発生防止に十分努めてください。

問い合わせ先：富山県砺波農林振興センター 園芸振興班 南條 TEL32-8112